

令和4年度 第2回 引佐北部小中学校 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年 7月6日（水） 15時から16時50分まで
- 2 開催場所 引佐北部小中学校 会議室
- 3 出席委員 夏目 稔三、西岡 祥一、五十川亜純、鈴木 知成、池田信子、西本 有一、  
山本 培代、廣瀬 稔也、池本 知充、鈴木計芳
- 4 欠席委員 加藤 隆康、小林 成彦、岡部 裕子
- 5 学 校 遠藤 健司（校長）、山下 剛功（教頭）、田力 里枝（CSディレクター）
- 6 傍 聴 者 なし
- 7 協議事項
  - (1) 会長あいさつ
  - (2) 校長あいさつ
  - (3) 議長選出
  - (4) 前回議事録確認
  - (5) 熟議 議長：鈴木知成委員
    - 【1】学校評価アンケートについて 教頭
    - 【2】令和5年度学校運営について 教頭
    - 【3】その他
  - (6) 連絡事項 教頭
- 8 会議録作成者 CSディレクター 田力 里枝
- 9 会議記録

(1) 会長あいさつ

この第2回の開催を、1学期末にお願いして今日の開催になった。

子供に対しての言葉で、つい「毒語」を言ってはいないか。子供を傷つける指導に陥らないために先手の予防をしよう。資料をもとにお話いただいた。親も教師も気をつけていきたい。

(2) 校長あいさつ

様々な問題に対して、急がずによりそって丁寧な対応をすることが、長期的に見ると効果が上がることが分かってきた。本校でもそうするように努めているが、さらに意識して行動していきたい。新入生募集について新年度に向け行動を始めているので、後半でお知らせしたい。

(3) 議長の選出について

今回の議長を鈴木知成委員に依頼し、全員異議なくこれを承認した。

(4) 前回議事録確認

前回の会議録の資料を各自で見えていただくようお願いした。

(5) 熟議

## 【1】学校評価アンケートについて

昨年度の学校運営協議会でのご意見を参考に、アンケート項目のきき方の見直しをした（文言を簡潔にする等）。お気づきの点があればご意見をいただきたい。尚、今回保護者の回答をWEBで依頼したところ、回答率が下がった。

- ・「3 体力の向上」で、部活動ではそれができているのか。（夏目委員）
- ・小学生高学年では水泳部と陸上部があり、それぞれ体力向上に努めている。総合文化部でも、体を動かすゲームを取り入れている。（遠藤校長、山下教頭）
- ・高温の日が続いているが運動はできているのか。（西本委員）
- ・子どもたちは休み時間には外へ出て行くことが多い。規定に従って休憩や水分補給の指示を出している。マスクは屋外では外すように指導している。（山下教頭）
- ・教師がマスクを外すと子供も外しやすいが、浜松市は教員に対して着用をすすめているので、悩ましいところだ。（遠藤校長）
- ・「4 授業」と「5 授業改善」は項目が重複するようにも思うし、内容をみると逆ではないかとも思う。「7 家庭学習」では、保護者は宿題と思うだろうし教師側は違うことを考えるだろうから、難しい。（夏目委員）
- ・項目と質問内容のつながりはどうなっているのか。親としてちゃんと答えるのがむづかしい。（西本委員）
- ・文言の見直しをしたことは一步前進である。評価の軸になるものが、親としてつかみきれない。学校はこういうことをしていると言うことを出していくことで、判断がしやすい。その意味で5～7ページの取り組み紹介はいいことだ。（西岡委員）
- ・中学生なら、授業の項目にはテスト結果をみれば答えられる。しかし、科目ごとにしないと実際にはつかみにくい。（廣瀬委員）
- ・回答率に関して、紙とWEBとでは善し悪しが分かれる。WEB回答は多忙に紛れて忘れがちになる。（五十川委員）
- ・お知らせもだんだんWEBになっているが、紙でもらう方が見えるところに貼っておけて都合がいいこともある。（鈴木知成委員）
- ・時代のWEBが主流になってきている。（遠藤校長）
- ・WEB回答は、伝えたいことがある人はすぐに回答する傾向がある。回答率は下がったが、特に問題がないと思っている保護者は回答しないのかもしれないと推察する。（山下教頭）
- ・昨年と比べて変化はあるか。（夏目委員）
- ・コロナへの対応に慣れて、どうすればいいのかをみんなが理解できている。何もできないのではなく、いろいろできることが分かってきて、充実した学校生活になってきているように感じる。教員数の減で学びに問題が発生していることはない。ただ、突発事項（今日の下校時の大雨）の際には対応に苦慮する。（遠藤校長）
- ・子供たちは総じて授業や活動に積極的に取り組んでいる。（山下教頭）

## 【2】令和5年度学校運営について

来年度の入学予定者が非常に少ない。引佐北部小中学校は全市からの入学が可能であること

を広く知ってもらえるように、チラシを作成し引佐細江の幼稚園保育園等に配布することを考えている。協議会で他に提案があれば教えていただきたい。

- ・当初から遠方の児童生徒の受け入れをしているので、いい案だ。(西本委員)
- ・総務課の考えとしては、引佐北部小中学校は存続させる方向のようだが、やはり一定数の児童は確保したい。また、中学生の通学バス利用についての提案もしている(遠藤校長)
- ・本校の卒業生で、棚田での経験から農業系の短大に進学した人がいる。経験が生きている。(西本委員)
- ・他地区からの入学生で医大に進学した人がいる。個々によりそう学校であることを宣伝できるといい。(山本委員)
- ・「ふるさと科」を先日参観した。子供にとって目標・目的の共有化が必要だと感じた。(廣瀬委員)

### 【3】その他

- ・模擬会社きりやまについて、何年も同じことをしているのでマンネリしているのではないか。年度始めは、販売活動をしなくて話し合う時間をもつ必要があるのではないか。何のための活動か、活動することでどんないいことがあるか。きりやまの活動による「学び」を求めたい。(西岡委員)
- ・商品を作る授業に参加させてもらったところ、準備に非常に時間がかかることを理解した。子供がどう考えているかを発言できるように、大人が手伝ってあげるのがいいのではないか。(五十川委員)
- ・教師の考えとして、今年度はまず組織のあり方の改善を最優先にすること、活動の経過をパビリオンで個人発表できるように指導することを前提に指導している。今までのきりやま販売は時間がかかるということでたざわの里での販売を試しているところ。三役とその他の生徒の間に隔たりがあったので、組織を見直すことになった。(遠藤校長)
- ・販売にかかるパワーを減らすことと、たざわの里販売会をすることは、相反していないか。(廣瀬委員)
- ・(パビリオンでの)個人発表を重視すると、差が出てくるのではないか。授業参観の際に指導案があると問題点が見えてくる。(夏目委員)
- ・先日、夏目委員と廣瀬委員の講演があったが、生徒の感想や考えはどうだったのか、リターンがあるといい。(五十川委員)
- ・年度終わりに模擬会社きりやまの反省点をまとめて下級生に引き継ぐことを重視した方がいいのではないか。(西岡委員)
- ・年度初めの販売活動はせず、会議をしっかりやるのがいいのではないか。(夏目、西岡委員)
- ・「はちみつ」が急に入ってきた感があるが、計画的にやっているのか。(西岡委員)
- ・三ヶ日長坂養蜂場さんからの依頼で、校内ビオトープにミツバチの巣箱を設置し、蜂蜜の収穫体験をさせてもらった。収穫した蜂蜜をいただけることになったので、きりやまの会議で販売することを決めた。7月23日のたざわの里販売での商品に加える。いい機会なので、ふるさと科の活動に含めた。急に決まったことで、来年度に継続して行うかは未定。(遠藤校長)

(6) 連絡事項

- ・ 次回の協議会は11月24日(木)に本校で行う。授業参観にもぜひ。
- ・ 新しい委員の推薦などあればお知らせください。
- ・ 次回の熟議内容は「本校の特色化、魅力化について」の方向でいきたい。